

- 問1 日本の気候区分のうち、標高が高いために夏でも平均気温が20度程度と涼しく、冬の寒さは厳しい一方で、山々に囲まれているため年間降水量が2000mmを下回るといった特徴を持つ区分を何と呼びますか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 中央高地の気候 2. 太平洋側の気候 3. 日本海側の気候 4. 瀬戸内の気候
-
- 問2 日本海側の地域において、冬の降水（降雪）量が多くなるメカニズムを説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。
2. 一年中吹く偏西風が、日本海流（黒潮）によって温められた水蒸気を直接運び込み、冬の山沿いに雨をもたらす。
3. 冬に南東から吹く季節風が、太平洋を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈を越えた後の日本海側で乾燥した空気を送る。
4. 赤道付近で発生した低気圧が日本海を北上し、暖かく湿った空気を山脈にぶつけることで大量の雪を降らせる。
-
- 問3 秋田県の伝統的な食文化である「いぶりがっこ」は、大根を囲炉裏の煙でいぶして（燻製にして）から漬け込む漬物です。このように「いぶす」という工程が発達した自然環境の背景として、冬の季節風によるどのような影響が挙げられますか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 偏西風の影響で大陸から砂塵が飛来し、屋外に干すと大根が汚れてしまうため
2. 南東からの乾燥した季節風の影響で、屋外では大根が凍結してしまうため
3. 北西からの湿った季節風の影響で天気が悪く、天日干しによる乾燥が難しいため
4. 一年中吹く貿易風の影響で雨が多いため、屋内での作業が一般的になったため
-
- 問4 ある地域の地形図において、南北に流れる犬飼川周辺の地形を確認したところ、川を横切る等高線がいずれも北側に向かって「V」の字のように凸状に曲がっていました。このとき、この地域の土地の傾斜と河川の流向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
1. 南側の標高が高くなっており、犬飼川は南から北に向かって流れている。
2. 北側の標高が高くなっており、犬飼川は北から南に向かって流れている。
3. 南側の標高が低くなっており、犬飼川は北から南に向かって流れている。
4. 北側の標高が低くなっており、犬飼川は南から北に向かって流れている。
-
- 問5 鹿児島県の桜島周辺など、活発な火山活動が見られる地域において、過去の自然災害による被害状況や避難の教訓を後世に伝えるために設置されている記念碑を何と呼びますか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 洪水氾濫記録碑 2. 火山災害伝承碑 3. 液状化防止観測碑 4. 雪崩注意記念碑
-
- 問6 三重県南部の尾鷲市を含む太平洋側の気候区において、夏から秋にかけて非常に多くの降水が見られる要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 一年を通じて安定した高気圧に覆われており、山を越えた乾燥した風が吹き降りてくるため
2. 冬に吹く湿った北西の季節風が、対馬海流から水蒸気を補給して山を越える際に雪を降らせるため
3. 夏に吹く湿った南東の季節風が、紀伊山地などの高い山々にぶつかって上昇気流が発生するため
4. 周囲を山に囲まれた盆地状の地形で、季節風の影響を受けにくいいため年間を通じて雨が少ないため
-
- 問7 地形図上で「浸水予想地域」が網掛けで示されている地域において、避難場所へ向かう経路を検討しています。河川沿いを通る距離の長い経路よりも、河川から遠ざかりつつ、網掛けの範囲を最短距離で通り抜ける経路の方が避難の安全性が高いとされる理由として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 浸水予想地域内は標高が低いため、最短距離で移動するよりも平坦な河川沿いを進むほうが体力の消耗を抑えられるため
2. 最短距離の経路であれば、避難途中に浸水が始まったとしても、水が引くのを待つ場所を確保しやすいため
3. 河川の近くは地盤が緩く、地震による家屋倒壊に巻き込まれる可能性が非常に高いため
4. 河川の増水による氾濫に巻き込まれる危険性を下げ、かつ危険な区域に滞在する時間を短くできるため
-
- 問8 冬季、同緯度に位置する日本海側の地域と太平洋側の地域では、一方は雪が降り積もり空が暗い一方で、もう一方は晴天で雪がないといった天候の差異が顕著に見られます。このような違いが生じる背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 南東から吹く湿った季節風が奥羽山脈にぶつかり、日本海側と太平洋側の両方に雪を降らせるが、日照時間の差で雪解けに差が出るため。
2. 日本海側を北上する寒流の影響により雲が発生しやすくなる一方で、太平洋側は黒潮の影響で常に雲が消滅するため。
3. 夏季の季節風が奥羽山脈に遮られることで、日本海側には乾燥した風が吹き、太平洋側では多量の降水がもたらされるため。
4. 水分を多く含んだ北西の季節風が奥羽山脈を越える際、日本海側に雪を降らせ、山を越えた太平洋側には乾燥した空気が流れ込むため。
-
- 問9 日本の河川が持つ「長さが短く、流れが急である」という特色は、日本の気候や地形と深く関わっている。この特色が日本人々の生活や自然災害に与える影響についての記述として、最も適切なものはどれか。 (2018年 京都府公立入試 類似)
1. 流れが緩やかなため、内陸部まで大型船を利用した水上交通が発達しやすい
2. 大雨が降ると短時間で水位が急上昇し、洪水が発生しやすい
3. 河口付近で流れが非常に穏やかになるため、大規模な三角洲が形成されやすい
4. 年間を通じて水量の変化が非常に少なく、安定した発電が可能である
-
- 問10 大阪府周辺に見られる「瀬戸内の気候」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、比較対象として、日本海側では冬の降水量が多く、太平洋側では夏の降水量が400mmを超える月があるものとします。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 一年を通じて気温の変化が非常に激しく、冬の気温は常に氷点下を下回る。
2. 夏季の降水量が非常に多く、台風や季節風の影響で一ヶ月の降水量が400mmを超えることがある。
3. 年間を通じて温暖であり、各月の降水量は概ね100mmから200mm程度で、他の地域に比べて雨が少ない。
4. 1月や12月といった冬季に降水量が急増し、季節風の影響で雪が多く降る。
-
- 問11 日本の諸都市の気候を比較したとき、年平均気温が14.9度であり、12月と1月の降水量が他の月と比べて際立って多くなる特徴を持つ都市として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大分市 2. 鳥取市 3. 那覇市 4. 松山市
-
- 問12 日本の気候区分のうち、周囲を山地に囲まれた内陸部に位置し、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温差（年較差）や一日の気温差（日較差）が大きい特徴を持つ気候を何といいますか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候 2. 中央高地の気候 3. 太平洋側の気候 4. 瀬戸内の気候